

実施計画事業名		自然教育推進事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男			
総合計画体系	分野	3	環境・生活					
	政策	3	環境問題への積極的な取組					
	施策	3	自然環境を守り共存を図ります					
	関連施策							
現状と課題	本市は、利尻礼文国立公園を擁し、海浜、丘陵、湿原など、多種多様な自然に恵まれ、わが国の最北に位置することから、学術的にも貴重な動植物が生息する地域である。近年、人為的な環境への負荷により、自然環境が変化しており、豊かな自然環境を後世に繋げていく取組みが必要である。学校教育の場においては、総合的な学習の時間を活用した、自然教育を取り入れるなどを行っているが、児童・生徒のみならず、社会人も対象として、身近な動植物との触れ合い等を通じた自然教育を推進していく必要がある。							
目的	自然と共生し、一人ひとりが自然環境の保全のために主体的に働き掛ける行動を促す							
5ヶ年展開の施策	自然に対する理解と愛情を深めるための機会を提供する フットパス(歩行者専用道)のPR 自然をテーマとした市民講座の開催 社会教育事業(山菜狩りなど季節に応じたカリキュラムで開催) 学校教育の場における自然教育の推進 大沼野鳥観察館、浜勇知展望休憩施設における情報提供など							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	設定できず				目標	-	-	-
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	自然を楽しむための社会教育事業の開催回数		回		目標	5	5	5
活動指標	説明		青少年を対象に自然と触れ合うことができる社会教育事業の事業数(市が主催もしくは共催等で開催するもの)		実績	4	3	
	自然をテーマとした講座の開催回数		回		目標	1	1	1
活動指標	説明		主に成人を対象に自然をテーマとして開催する講座の開催回数		実績	0	1	
	浜勇知展望休憩施設の利用者数		人		目標	7,500	7,500	7,500
活動指標	説明		浜勇知展望休憩施設を利用した人の数(延べ)		実績	8,128	11,185	
	大沼野鳥観察館の利用者数		人		目標	13,000	13,000	13,000
活動指標	説明		大沼野鳥観察館を利用した人の数(延べ)		実績	16,443	22,500	
			単位	21年度(決算)	22年度(評価年度決算見込)	23年度(予算)	備考	
事業費の実績	直接事業費(A)		千円	15,266	21,258	21,363		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	0	0			
	一般財源		千円	15,266	21,258	21,363		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.87	0.91	0.91		
	人件費(B)		千円	6,026	6,180	6,180		
計(A+B)		千円	21,292	27,438	27,543			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p>a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p><cの場合は、なぜかを分析して記入する></p> <p>口蹄疫や鳥インフルエンザの感染症の影響はあるものの、それぞれの施設での自然体験は有効に行われたものと思われる。</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<p>a a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p><bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総合評価	<p>A 概ね問題なし</p> <p><A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する></p> <p>子どもたちの豊かな人間性を育むためには、様々な体験活動を実施することが重要である。このため、地域の豊かな自然や資源について再認識する機会を充実させることを目的とする本事業の果たす役割は、重要である。</p>

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	<p>A 概ね問題なし</p> <p><2次評価者の視点からコメントを記入する></p> <p>1次評価のとおり取り進めること。</p>						

【内部評価委員会】

意見	
----	--